社会資本総合整備計画　事後評価書

平成29年12月22日

計画の名称	1　海老名市の公共下水道における防災・安全の実現		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	神奈川県　海老名市

計画の目標

下水道施設の長寿命化を実施することにより延命化を図るとともに耐震化を行い、最小限に被害を留め、地震に強い環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

① 下水道施設における地震対策率を０％（H23）から６％（H27）に増加させる。
② 下水道施設における長寿命化計画策定率を０％（H23）から１８％（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23当初）	中間目標値（H25末）	最終目標値（H27末）	備考
① 下水道施設における地震対策整備率 地震対策済み管渠延長（km）／地震対策すべき管渠延長（km）	0%	2%	6%	
② 下水道施設における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み処理区域（ha）／長寿命化計画を策定すべき処理区域（ha）	0%	12%	18%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	A	B		C	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	備考
	373 百万円 373 百万円	342 百万円 364 百万円			31 百万円 9 百万円	8% 2%	

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
海老名市下水道運営審議会により実施	平成２９年度
	公表の方法：ホームページ

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業　　上段（黒）計画　　下段（赤）実績

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
相模川流域左岸処理区																	
A1-2-6	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	下水道総合地震対策計画	調査計画策定	海老名市						10 35	
A1-2-7	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	管渠耐震対策	100箇所	海老名市						60 0	
A1-2-3	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	管渠・マンホール蓋長寿命化事業	調査計画策定	海老名市						30 90	循環のみちの実現より移行
A1-2-4	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	管渠長寿命化（改築）	管更生等 L=0.9 L=0.62km	海老名市						66 55	循環のみちの実現より移行
A1-2-5	下水道	一般	海老名市	直接		汚水	改築	マンホール蓋長寿命化（改築）	1,331箇所 974基	海老名市						176 184	循環のみちの実現より移行
										合計						342 364	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
合計														0	

番号		備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
C-1-1	下水道	一般	海老名市	直接	海老名市	汚水桝蓋等交換事業	300箇所 104箇所	海老名市						31 9	
合計														31 9	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業の主要な管渠に接続する本管流末の汚水桝をコンクリート蓋等から塩ビ桝に交換することにより耐震対策を図る。	

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の状況	①耐震診断の実施により、下水道施設における耐震性が把握できた。 ②市内下水道施設の長寿命化調査により、状況を把握することが出来た。

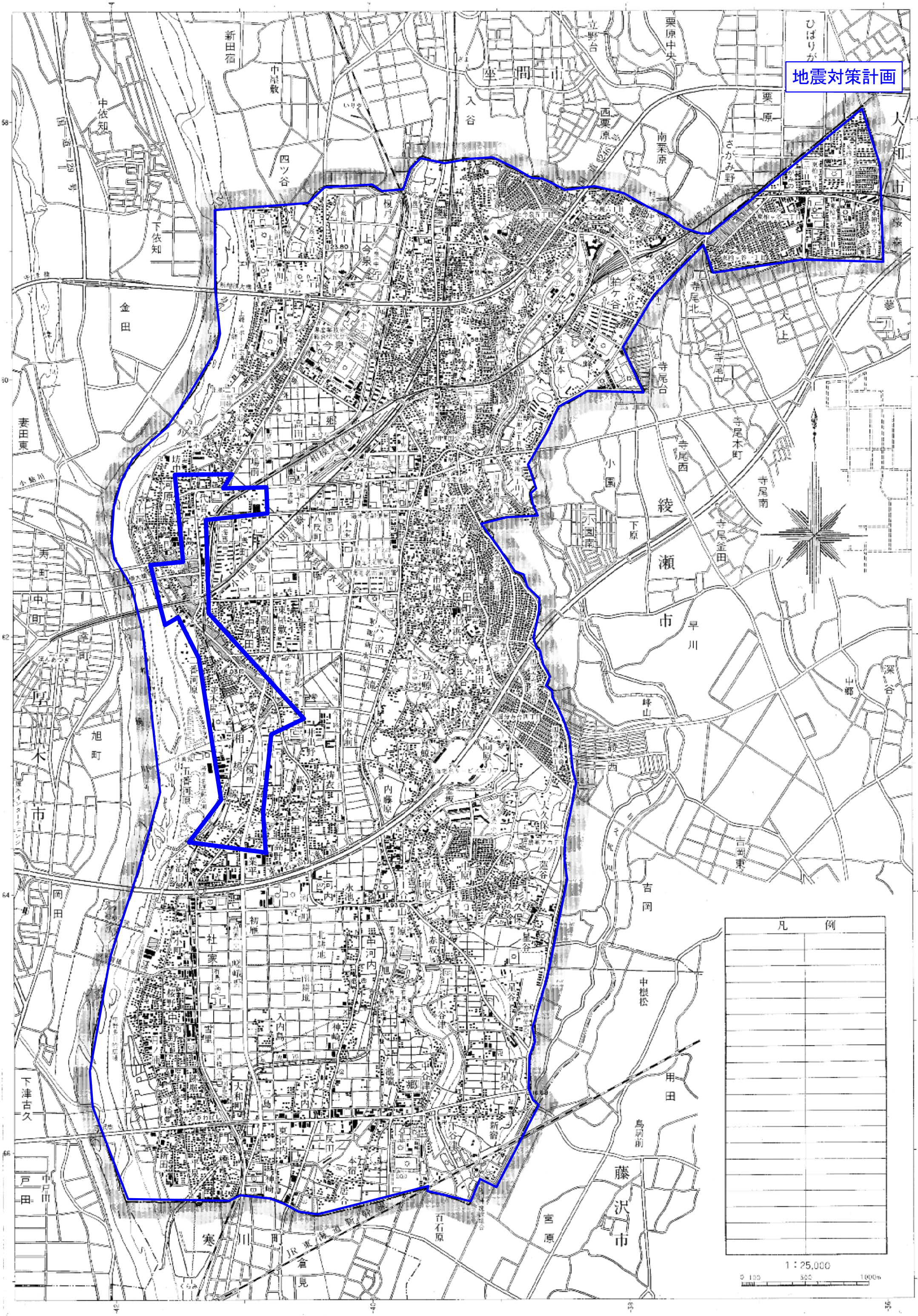
Ⅱ定量的指標の達成状況					
	指標① 下水道施設における地震対策率を０％（H23）から６％（H27）に増加させる。	最終目標値	6.0%	目標値と実績値に差が出た要因	調査詳細診断の結果、工事の必要が無いとの診断がされたため、達成率が０％となった。
		最終実績値	0.0%		
	指標② 下水道施設における長寿命化計画策定率を０％（H23）から１８％（H27）に増加させる。	最終目標値	18.0%	目標値と実績値に差が出た要因	積極的に事業を推進した結果、最終目標値を上回ることが出来た。
		最終実績値	28.0%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

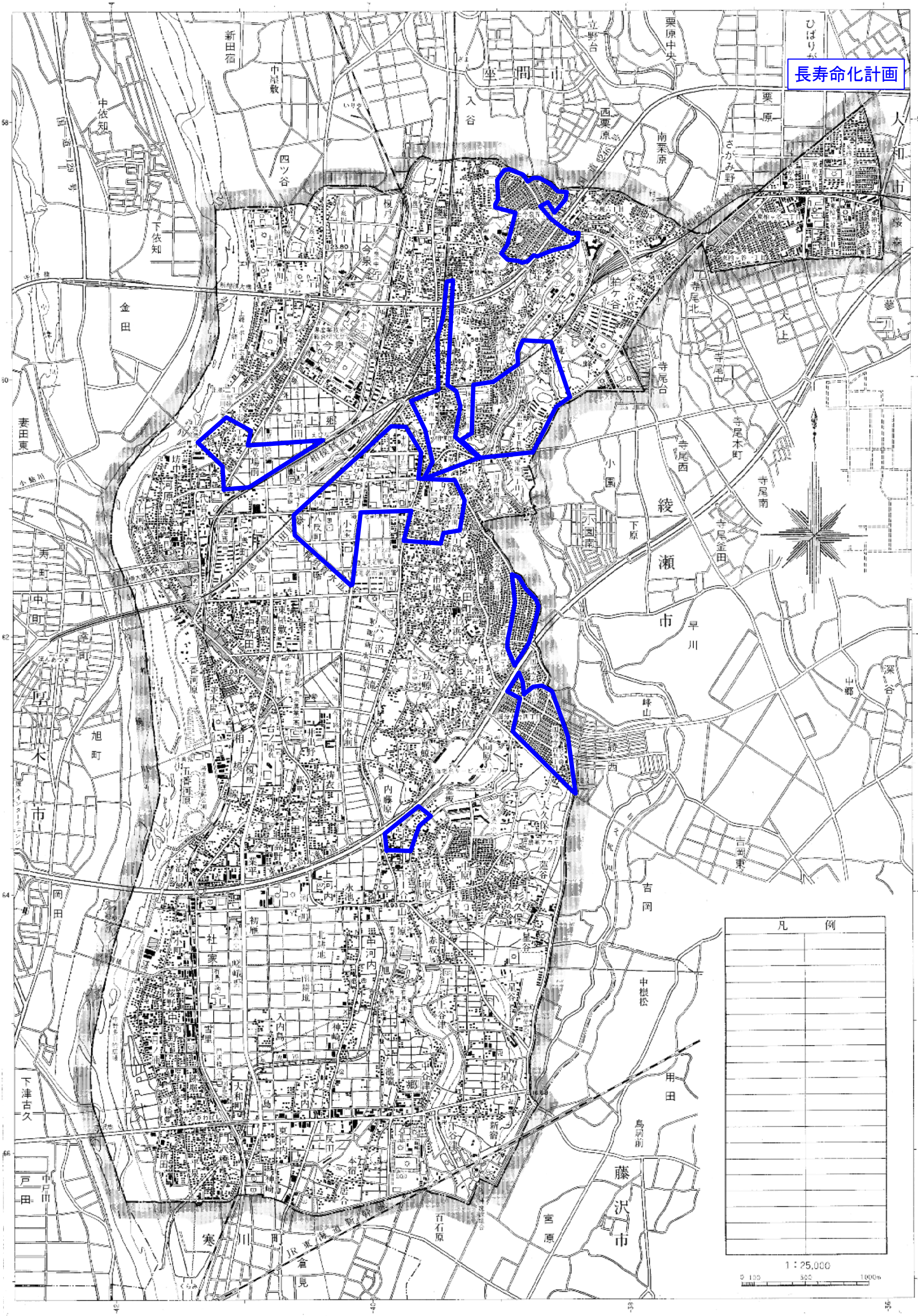
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	・管渠・マンホール蓋長寿命化調査を実施したところ、当初想定していた数値よりも早急に必要とされる延長、箇所とも減少した。 また、総合地震対策計画調査の結果を踏まえ、早急に対応すべき箇所のみ実施した。

３．特記事項（今後の方針等）

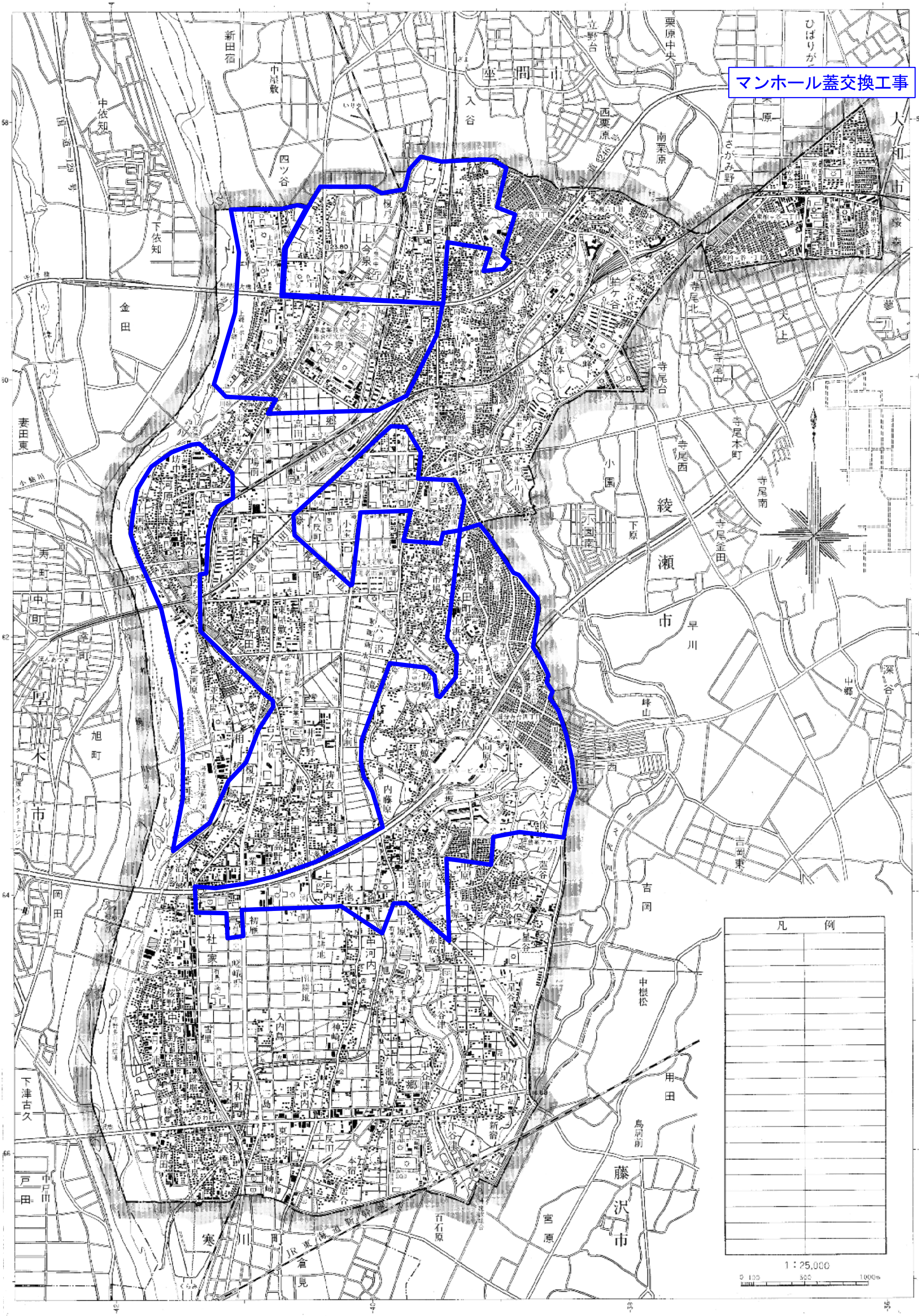
①　地震対策を行う上で必要な調査を積極的に行い、工事が必要な箇所が生じた際には計画的に進めていく。
②　緊急輸送路など未調査箇所の整理を行い、短年で調査を終えるよう計画的に進めていく。
算定式については、基幹事業の内容と相違が無いよう計上していく。

地震対策計画


凡　例
1：25,000
0 100 500 1000m
座間市
大和市
綾瀬市
厚木市
藤沢市
新田宿
中屋敷
中依知
下依知
四ツ谷
入谷
立野台
栗原中央
西栗原
南栗原
栗原
さがみ野
ひばりが
上今泉
下今泉
金田
柏ケ谷
寺尾北
寺尾台
寺尾中
寺尾西
寺尾木町
寺尾南
寺尾釜田
小園
下原
妻田東
河原口
中新田
相模
内藤原
寿町
中町
幸町
旭町
岡田
社家
初音
下津古久
戸田
中戸川
寒川
倉見
早川
峰山
中郷
深谷
吉岡東
吉岡
中根松
甲田
宮原
百石原
JR東海道新幹線


長寿命化計画
凡　例
1：25,000
0 100 500 1000m
座間市
大和市
綾瀬市
厚木市
藤沢市
新田宿
中屋敷
中依知
下依知
四ツ谷
入谷
立野台
栗原中央
西栗原
南栗原
栗原
さがみ野
上今泉
下今泉
金田
柏ケ谷
寺尾北
寺尾台
寺尾中
寺尾西
寺尾木町
寺尾南
寺尾釜田
小園
下原
早川
峰山
中郷
深谷
吉岡東
吉岡
中根松
用田
藤沢市
宮原
百石原
寒川町
倉見
戸田
下津古久
岡田
社家
中新田
旭町
寿町
中町
幸町
妻田東
相模原市

マンホール蓋交換工事


凡　例
1：25,000
座間市
綾瀬市
厚木市
藤沢市
大和市
新田宿
中依知
下依知
金田
四ツ谷
上今泉
下今泉
栗原中央
立野台
西栗原
南栗原
さがみ野
寺尾北
寺尾中
寺尾台
寺尾西
寺尾木町
寺尾南
寺尾釜田
小園
下原
早川
峰山
吉岡東
吉岡
中根松
用田
宮原
百石原
寒川
倉見
戸田
下津古久
妻田東
岡田
旭町
寿町
中町
幸町
中新田
八反町
浜田町
内藤原
今里
社家
中河内
本郷
下谷津
新宿
藤沢
中原
大久保
星谷
赤坂
上河内
氷池
初雁
入内島
神崎
大和町
東河内
五反田
本宿
居谷
中戸田
中戸田
JR東海道新幹線